

教育振興基本計画検討委員会

香美市立図書館の現状

1 香美市立図書館のスペック（令和5年3月31日）

(1) 蔵書冊数

かみーる 70,366冊（内児童 21,671冊） 香北 18,628冊（内児童 7,958冊）
物部 8,368冊（内児童 3,163冊）

(2) 雑誌タイトル数（5月時点）

かみーる 74（内購入22）※雑誌サポーター制度による雑誌48
香北 15（内購入21） 物部 9（内購入8）

(3) 職員数

かみーる 正規3 会計年度任用司書6 事務補助2
香北 事務補助2 物部 事務補助1

2 旧館とかみーるとの対比（本館のみの数字）

(1) 一日当たり来館者数

平日 旧館 約60人 かみーる 約300人 約5倍
土日 休館 約80人 かみーる 約450人 約5.5倍

(2) ひと月当たり貸出冊数（団体含む）

旧館 約7千冊 かみーる開館後 約1万2千冊 → 年間約14.4万冊（団体含む）の見込み（約1.7倍）

(3) 登録者数（名目）

旧館 約8千人 かみーる開館後 11月約9千人 4月約1万人
12月以降の新規登録者は香美市外（特に、香南市、南国市）の方が多い
5月は、市内・市外とも月70人程度
（4月まで 市内・月70～100人、市外・月100～170人）

3 蔵書・利用の特徴と課題・展望

- ・蔵書は児童書、小説、家庭実用書（衣服、料理等）が中心で、利用もその分野が多い。
- ・他の分野は蔵書が貧弱だが、今後、充実すれば、その分野を利用する人の貸出増が見込める。
- ・学習室や机付き座席の利用者は、自分の参考書等を持ち込んでの自習者が大半で、図書館の資料の利用が少ない。
- ・椅子のみの席の利用者はお年寄りを中心に、図書館の資料を読書される方が多い。
- ・グループ室は、児童・生徒の自習利用が多い。
- ・「つながるーむ」が活用され、イベントでにぎやかになることも少なくないが、「静寂読書室」を別途設けてあるので、苦情は来ていない。
- ・良好な形でボランティアが運営に参画している（資料装備、配架、庭の手入れ、障害者への音訳等）。
ボランティア保険対象者42人 他、おはなし会のボランティア（人数不定）と高知工科大学生16人

4 今後の運営

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づき、基本的な「運営方針」を策定する。そのもとに、運営計画（第2次サービス計画+蔵書構築計画）を策定する。

これらについては、図書館協議会で協議しながら進めている。なお、リモートで、有識者の参加も得ている。